

市民がつくる
市民が学ぶ
市民が拓く
生涯学習情報誌

Stage

月刊ステージ・アップ

up

'98
10

月号【1日発行】



いまを話す

「川崎市民オペラ」代表、国際的なバス歌手
佐藤 征一郎さん
ドイツで活躍、日本文化に精通
美しい日本語訳の歌劇を



10月7日から
しんゆり映画祭

Stage Up 10 月号もくじ/1998年

■ほんねインタビュー いまを話す 3

「川崎市民オペラ」代表、国際的なバス歌手

佐藤征一郎さん

ドイツで活躍、日本文化に精通
美しい日本語の歌劇を

■はりきつてます グループ紹介 8

季節の空間創作する

幸いけ花研究会(幸区)

粘土で「焼かない陶芸」楽しむ

デコの会(宮前区)

●学習・文化情報 10

◆社労士資格支援準備セミナー 12

◆川崎市民交響楽団定期演奏会 13

□会員募集／編集後記 15

◆しんゆり映画祭 裏表紙

◇表紙絵……西生田の柿 清水幹子さん

(小誌は再生紙を使用しています)

お知らせ 1999年新春号(1、2月合併号)の発行日は

1月8日(金)になります

重い過去をさらりと

「本のある自伝」

辻井喬著

(講談社、千八百円)

麻生区白鳥、紺野早苗さん

以前、テレビで古館伊知郎氏が「サザンの曲はどれを聞いても一曲に自分の思い出がたまっている」と語っていた。人は音楽や味覚、においなどを通して、いにしえの日々に思いを馳せることができる。白黒のテレビ画面の前でコッペパンをほおばったあの日のことを。

作家辻井喬。それは実業家堤清二氏の姿でもある。決しておだやかな家庭環境に育ったとはいえない難い作者

楽しいエピソードと記録

「ヨコハマ・神奈川合唱事情」

宗行紀子著(近代文芸社、千五百円)

幸区東古市場、小西乾太郎さん

「合唱が趣味」を少し越した程度の者にとって、この本はとても貴重な記録である。ただ川崎は、終戦前は音楽にはほとんど縁がなかったとみえて、ほんの少ししか記述がなく寂しい思いがする。いまは、他の都市に負けないほど、あるいは、それ以上に進んでいて誇りを感じる。

この本の著者は、合唱の経験のある主婦である。放送大学の卒業論文に神奈川県合唱の歴史を調べて提

お勧め本

は、はたから見れば波乱万丈な人生を「人間はみんな時代に翻弄される存在なのだ」とさらりと述べる。ふと思い出したように母子の住む三鷹の家を訪れた父。脳膜炎寸前に陥った作者の頭上で母と医師がかわした会話。そんな幼少期を経た氏の生い立ちには、いつもかたわらに本があった。幾多の頁をめくった本。それは氏にとって「大学」でもあったのだ。

自ら読書記録をつづった本は沢山ある。しかし、この作品は、本と共に時代の荒波を生き抜いた一人の姿が生そのままつし出されているのだ。

出したところ、先生から「本にしたら」と勧められ、さらに資料を集めたこの本になったという。私も取材に応じ、資料を提供した。

この本は、合唱の歴史を書いただけではない。鶴見在住であった佐藤美子さんについて「余談ではあるが若き日のカルメン姿の佐藤美子がプログラムで何と妖艶なことか」と、女性である著者が書いているのは面白いことだと思つた。また、戦時中のことも詳しく載っている。終戦後のことは七割を占めているが、書き尽くせないのはやむを得ないことだろう。

「お勧め本」欄へご投稿のお願い 本の題名、著者、出版社、価格、あなたの住所・氏名を明記。16字取り25行前後の読後感を寄せ下さい。見出しは編集チームで付けます。

いまを話す

「川崎市民オペラ」代表
国際的なバス歌手

佐藤 征一郎 さん

Vol.68



——今日は楽しみにしてまいりました。よろしくお願ひします。

佐藤さん こちらこそ。紅茶を入れて来ましたから、どうぞ。

——佐藤さんが入れてくださったのですか？

佐藤さん ええ。これくらいのことではできませんよ（笑顔で）。ドイツでは畑も耕していましたし。

——オペラ歌手というだけで、とても遠い存在と……。ところで、お話ししてくださいる声、美しい音楽のようで、うっとりさせられます。声楽家になられたきっかけは。

ドイツで活躍、日本文化に精通

美しい日本語訳の歌劇を

富士山の美しさに感動。北齋の浮世絵に魅せられる。自宅居間に囲炉裏の自在鉤をつるし、書家・千葉琴玲による「花伝書」の書を飾る。「川崎市民オペラ」の代表で国際的バス歌手、佐藤征一郎さんの素顔である。いま「東海道五十三次」の街道沿いで暮らした人々の生活を「音楽で伝えたい」と委嘱創作日本歌曲シリーズ(式)に取り組む。そこには音楽界の一部にある「歌劇はその国の言葉に限る」との原語一辺倒はない。「日本人がわからない歌では」とさうり。「ベターな日本語訳がまだない」としたうえで「川崎市民オペラで、全幕を上演するときは新しい訳で」と美しい日本語での公演に意欲的。インタビューはFM K-Cityの秋山雅子さん。

佐藤さん 高校一年の春、遠足で城ヶ島に行ったとき、バスの中で一人ずつ歌うことになりました。私は「城ヶ島の雨」を歌ったんです。すると担任と音楽の先生が私の歌を聴いて「君は音大に行きなさい」と進路を決めちゃって。

——そのとき初めて音楽を意識されたのですか。

佐藤さん ええ、そうです。ですから、それからの勉強が大変で、卒業間際になってやっとピアノを買って浪人覚悟の音大受験です。

——佐藤さんは「川崎市民オペラ」の代表ですが、ことし六月、多摩市民館でのコンサートは盛況でしたね。今回は「愛」がテーマでしたが、どなたの企画ですか。

佐藤さん 制作委員からの提案でした。イタリア歌曲の九九・九％は愛がテーマで、オペラも愛を語るものが多いのです。今回はソロの曲から四重唱の曲まで演奏させていただきました。

——リハーサルも拝見しましたが、みなさん一生懸命でしたね。

佐藤さん それぞれのレベルの人が、それぞれの思いを秘めて練習を積み重ねてきました。

——みんなで相談しながら、い

進路決めた高1の遠足の歌

プロ、アマが知恵出しあう 民市
オペラ

今年6月、川崎市民オペラのモーツァルト「魔笛」の一シーン。中央は佐藤さん



い方向をみつけていこうという温かい雰囲気を感じましたが。

佐藤さん オペラは本来、演出家がいって指揮者がいて、オーケストラがあってという形で上演します。いまの市民オペラは予算がついていけませんので、みんなで知恵を出し合って作っていくやり方し

かないのです。メンバーそれぞれがいろいろな才能を発揮しますの

で、かえってそれがおもしろく、楽しいのです。

——オペラの本場で舞台経験を積んだ方を中心に、いろいろなアイデアが出される。いいですね。

佐藤さん とくに音大を卒業し

たばかりの若い人には、今回もいい経験になったと思います。どれだけけいこをしても、本番の恐ろしさ、状況というのがあり、修羅場に立った経験に基づいた練習をしませんと本物になりません。それに、われわれには「若い人たちが将来活動しやすいようにレールを敷く」という思いがあるんです。

——当日の進行は、辻秀幸さん（日本合唱指揮者協会理事・テノール歌手）がされましたが、「ユーモアのあるお話と分かりやすい解説で、楽しく舞台を鑑賞できた」と好評でした。

佐藤さん 「楽しかった」といわれてホッとしました。今回が四回目ですが、実は毎回「いまままで一番よかった」という人が多いのです。

——そうでしたか。昨夏は「ちよっとオペラが見える夏」がテーマで、その中のドニゼッティ生誕二百年記念「ビバ！ラ マンマー」は楽しくって……。

佐藤さん あれは型破りのオペラです。ステージママの話ですが、お母さん役をバスがやるものから、私も張り切って女装しました。とんでもないオペラもあ

ることを紹介したかったんです。オペラにもいろいろあって「オペラは言葉が大事なのか、音楽が大事なのか」という討論会のようなものだってあります。

——「ビバ！ラ マンマー」のとき、客席の反応が早く自然に笑いが起きました。それは、日本語での上演にあったと思います。劇場中継で、ドイツ語のオペラを視聴しますと、ドイツ人は心から笑っているのですが、日本人は反応が遅れるんです。

佐藤さん そうですね。ドイツでも地方では母国語で上演し、大都市では原語という場合が多いです。日本は、まだオペラを知ってもらおうプロセスにあると思っています。「川崎市民オペラ」に来てくださる方の中には、よくご存じのオペラファンから「オペラは初めて」という幅広い層がいますから、まずは日本語でオペラを理解してもらおうのいいと思います。わからないオペラでは困りますからね。回を重ねるうちに、ストーリーもわかって「音楽とマッチするには原語の方がいい」ということになれば、それに応えるようにすればいい。問題は、ベター

な日本語がまだないことです。

——やはり、ありませんか。

佐藤さん ええ。残念ながら……。たとえば、モダンな演出なのに「三尺、四尺」とか「お殿様」と歌われると、とくに若いファンは違和感を持ちます。いい訳ができるまでには、時間がかかりますが、われわれがオペラの全曲を上演するときには、ぜひ新しい訳でやりたいですね。本物をお見せできるように、われわれ歌手兼制作側も心して準備をしたいと思います。

——佐藤さんの意欲に圧倒される感じですか。

佐藤さん 先輩の白幡武さん(バス)が事務局長として、また、芸大のクラスメートの大川隆子さん(ソプラノ)も企画委員として私を支えてくださり、今後のいろいろな問題にも対処して下さると確信しているからです。

——合唱団はアマチュアの方ですか……。

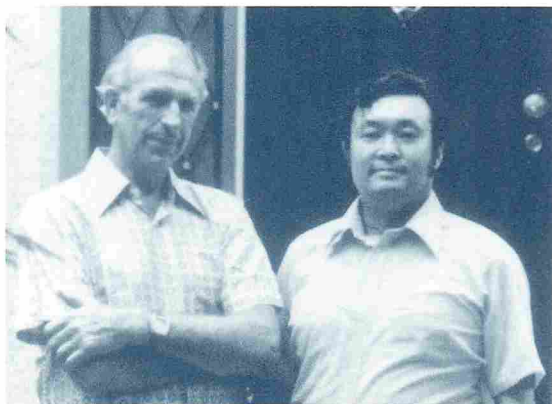
佐藤さん 私たちのステージにいつもご一緒するというお約束なのです。合唱ナンバーと演技の練習が半々。細かいことは申し上げませんが「ここはこういう状況です」と説明し、あとは「みなさんで工夫してやってください」と下駄を預けます。すると、みなさん、張り切っておやりになる。先程の「ビバレー マンマー」の劇場シートのステージでは、かつらグループ、衣装グループに分かれていろいろと工夫をしてくださいます。かつらを毛糸で作ったり、いろいろな衣装もプロ並のものを団員が作って用意して下さり、背景もいつのまにか出来上がっていたのです。

——まさに手づくりですね。

佐藤さん それが「川崎市民オペラ」のオペラなんです。メンバーの大半は他の合唱団にも所属していて、さらに「オペラも」という方です。もつと多くの方がお集まりいただければ、豊かな時間を楽しく共有できることでしょ。

——オペラの合唱も、なかなか幅が広いですね。

不滅のバスバリトン、H・ホッターに師事。一九七四年、ドイツで



佐藤さん そうですね。イタリ

アオペラになりますと大変ですけど。モーツアルトのオペラはわかりいいし、ウィットに富んでいて遊び心もある。それでいて品がなくてはいけません。ですから、まずはモーツアルトのオペラを一通りレパートリーにできたら、と思っています。

——それはすごいですね。

佐藤さん モーツアルトが生まれたザルツブルクと川崎市は友好都市です。やがては交歓会のよう

な形でモーツアルトのオペラを一緒にできたらいいと思っています。

——夢がふくらみますね。

佐藤さん 何年前か前でしたら、川崎市民が「ザルツブルクのステージに立つ」ということは、夢のまた夢でした。いまは「努力したらかなう」と思います。

——そのためにも、行政の援助・協力があるとうれしいですね。

佐藤さん そうなんです。なにしろ「川崎市民オペラ」を各市民館をまわって公演をしたいと思っても、オーケストラボックスが用意できるところは、教育文化会館

佐藤 征一郎 さん

生 1940年、仙台市生まれ。67年、東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。70年、同大学院音楽研究科修士課程修了。71年、旧西独ケルン市立歌劇場と専属契約を結ぶ。ケルン国立音大に入学しドイツ歌曲などを研鑽。73年、フライブルク市立歌劇場専属首席バス歌手。帰国後、芸術選奨文部大臣新人賞、文化庁芸術祭優秀賞などを受賞。CDはモノ・オーケストラ「マクベス」など。現在、洗足学園大学教授、二期会会員、川崎市民オペラ代表など。高津区末長の自宅で妻、2人の子息の4人暮らし。

夢でない川崎市民が立つ ザルツブルクのステーション

だけという現状なんです。

——佐藤さんはドイツでオペラのお仕事も長く経験されていますが、ドイツの市民オペラは……。

佐藤さん ドイツのオペラ劇場は州立か市立です。ですから、われわれ歌手は全員公務員です。

——ほーお、知りませんでした。

佐藤さん 公務員の公演ですから「市制記念のオペラ・ガラコンサート」もします。その後、市長から夕食会に招かれ「市民のため」にありがとうとあいさつされると「われわれは市民のために歌っている」と再認識させられます。

——合唱団も公務員ですか。

佐藤さん 合唱団は劇場付きです。すから、そうです。しかし市中の一般的な合唱公演では、ソリストが超一流でも合唱は全部アマチュアで、市民と一体となった音楽活動という感じがします。

——そのころのドイツで、舞台衣装のまま、市電にお乗りになつ

たこともあるそうですが……。

佐藤さん そうなんです。乗客が「きょうの佐藤はよかったよ」と声をかけてくれます。何度も来てくださったっているんですね。

——日本では「鑑賞は一回」が普通ですけれど。

佐藤さん 何度も楽しむんです。



モーツァルト「ドン・ジョバンニ」のレポレロのアリアを熱唱する
佐藤さん

そして、直接話しかけて反応を示します。考えようによっては、それは怖いこともあるんです。私は十年間ドイツにいて、市民農園もやりましたけれど、あれは順番待ちが大変なんです。でも、ドイツの市民はオペラ歌手に親しみをもち尊敬していますので「お先どうぞ」という感じでした。

——宗教的違いもありますが、ヨーロッパでは音楽が日常生活のなかに根づいているのですね。

佐藤さん キリスト教文化の根強いところで、私はクリスチャン

になり損ねましたが、小さいとき、川崎境町教会の日曜学校に通っていて、その知識は音楽を理解するうえで、ステーションで役立ちました。

——話は変わりますが、ドイツからお帰りになった翌年から始められました「ドイツ歌曲の軌跡を辿る25年連続リサイタル」が十七回目になり、ことし七月、津田ホールで聴かせていただきました。すでに二〇〇四年までのプログラムが決まっているようですが。

佐藤さん はい。通算十九年目になりました。

——たしか第一回目の「古典ドイツ歌曲の夕べ」で文化庁芸術祭優秀賞を受賞されましたね。

佐藤さん はい。芸術祭に参加しますと、選考委員の方々が聴きに来て最終的に評価をくださいます。第一回目のときは「25年連続でやる」とは言わなかったのです。でも、そのつもりでプログラムの曲目は作りしました。批評家にけなされたら、やめてしまおうと思っていたんです。ところが、その演奏会の批評でおだてられました。また、毎回聴きに来てくださる方も多く、やめられなくなりました。

——客席に中年の男性が目立つ

ほんねインタビュー

たように思いますけれど。

佐藤さん 中年の方が多いのは有名ですよ(楽しそうに笑う)。

若いときは、パワーでごまかしが利きますけれど、年を取りますと、パワーは計算外になり「音楽性」だけが残るんですよ。年を取ることで感じ合えるなにか共通の思いがあるような気がします。

それが温かく聴衆を包む音楽の魅力にもなっているのですよ



うね。

佐藤さん 持病のある相当ご年配の方が「二〇〇四年までは来れないけれど」といって、足を運んでくださる。それこそ、命がけで来てくださるわけです。こちらも命がけで歌わなくてはと思います。

一つの同じ曲でも、その年その年で感じ方が違いますし、その時々の人々のおかれた状況でも感動の仕方が違うと思います。つ

まり、「何度聴いても聴きあきることがない」それが音楽の一番の魅力かもしれない。

佐藤さん 私はドイツで、ハンス・ホッターという日本ではシューベルトの「冬の旅」で有名な歌手に師事したのですが「お前は六八%の音量で歌え」とおっしゃるんです。大きな声で、はつきりしたドイツ語で歌ったほうがいように思いますけれど、音楽する場合はそれが第一目標ではないことを真つ先に教えていただきました。

先日のリサイタルのとき、伴奏者のウオルフラム・リーガーが開演の直前、舞台のそでで「さあ、私たちの音楽をしようね」とおっしゃるんです。「さあ、しっかりと張ろう！」ではなくて、こうやって音楽を始めるのはいいな、と思いました。

佐藤さんのお部屋を拝見しますと、たくさんの本や楽譜があります。音楽関係のものばかりでなく宮澤賢治、シエークスピア、浮世絵版画の画集と、興味が多岐

秋山雅子さん



にわたっていることがわかります。

「バス独唱とピアノのための私抄 富嶽三十六景」は、委嘱創作日本歌曲シリーズで、一昨年の十月に世界初演をなさいました。これは、葛飾北齋の浮世絵版画に詞と曲をつけられたそうですが。

佐藤さん なによりも富士山に感動していました。その感動と街道沿いに暮らす人たちの生活を音楽にいきいきと映すことができたら、と思いました。こんどは「東海道五十三次」をパークッションも入れてやろうと考えています。

その「東海道五十三次」には川崎も出てきますか。佐藤さん もちろん、川崎も選

秋山 雅子 さん

あきやま・まさこ=1962年、甲府市生まれ。短大卒業後、NHK甲府、テレビ神奈川アナウンサーを経てフリー。現在、FM K-City (79.1)「かわさきFMサロンのパーソナリティ」も。多摩区在住。

びますよ。

佐藤さんはいろいろな顔をお持ちで、シエークスピア・シリーズも同時進行だそうですね。

佐藤さん ええ。「マクベス」で始まりましたが、四大悲劇を一人で歌うモノ・オペラです。やりたいことがいっぱいあって……。

お話をうかがいながら感じましたことは「音楽を通して人生を楽しんでいらっしやる」ことで、人生の楽しみ方の示唆に富んだお話、ありがとうございます。

佐藤さん 私はいつも幸せですが、久しぶりにゆっくりした時間についてお話ができて、きょうはとくに幸せです。

題字は高橋清・川崎市長

構成／富樫 恭子

文責／田中 罔

カメラ／山本 綾子

日本歌曲を創作、音楽界に新風

★第5回川崎市民オペラガラコンサート「オペラは愛のバリエーション」 10月30日(金) 18時半開演、多摩市民館。入場料2千5百円(全自由席)。問い合わせは☎044(811)5383の同事務局。

はりきってます グループ紹介

仲間と楽しむ 学び 活動する 生き生きと。



ハサミに感性託し 色と線の立体芸術

この日の花材は、紫色のリヤトリス、黄スカシユリ、白菊、濃緑なフェニックス。流派にとらわれず、自由な発想で生ける。

会員は、花材と花器の色・形を眺めながら構図をイメージ。リヤトリスを束ね、一本一本の枝の長さに変化をつける六十代の女性。黄スカシユリの花の咲き具合や向きを丹念に見て、 unnecessary 葉を切り落とす七十代の人。フェニックスの右半分の葉をすべて切り、茎を曲げ緩やかな曲線を作る人。花ばさみを使うかすかな音が、ここちよく実習室に響く。一本一本の花が手際よく生けられ、立体的で芸術的な「小さな花園」がいくつもできる。

生け終えた会員が「白菊三本を真・体・流（ま・たい・りゅう）にして、その周囲にフェニックスと黄スカシユリを配したのだけれど、どうかしら」「白菊のつぼみのものは長めに切り、『真』（中心）に、花が開いているものは短めに切り『流』（地）にして、いいバランスよ」と楽しいムード。

完成に合わせて、本田一慧・一慧式古流華道家元が「黄スカシユリをよい位置にもってきましてね」

「白菊の葉を少し落とすとすつきりしますよ」と助言して回る。生けはじめて三十分後、それぞれのいけ花が完成。満開の黄スカシユリを中央に白菊をちりばめた作品。曲線をつけたフェニックスを大胆に使い、柔らかい線の動きが優雅さを感じさせる作品など、色彩・線・空間・香り・花の個性と会員の感性が生きている。

切り落とした花や葉も一輪挿しやグラスに浮かべ楽しむ。一九九〇年の同区文化協会のいけ花講習会が同会発足のきっかけ。中沢フデヨさん（88）は「花のある生活は、潤いがあり雰囲気や和やかになります」とにっこり。

大寺直美さん（49）は「花や葉の向きがイメージ通りにならず、工夫するのも楽しい」と話す。渡辺敏子さん（70）は「玄関に置く花は構図をよく考え、格調ある雰囲気になります」と楽しそう。

篠崎代表は「堅苦しく伝統を考えずに、生活の中に花を飾っていただきたいですね」と述べる。

代表宅は ☎（544）3801（FAXなし）。

文／小誌・山本綾子
カメラ／小誌・井上徳子

「幸いけ花研究会」は、篠崎美重子代表（44）ら会員十六人。色彩豊かな季節の花と向き合う。たわなに咲く花、ひっそり咲く花。

会員たちは、木曜の午前（月二回）幸市民館実習室で、花の世界を語り合い、それぞれの花器に自分の思いをこめ、創作する喜びに浸る。

季節の空間創作する

幸いけ花研究会（幸区）

完成に合わせて、本田一慧・一慧式古流華道家元が「黄スカシユリをよい位置にもってきましてね」

文／小誌・山本綾子
カメラ／小誌・井上徳子

はりきってます グループ紹介

粘土で“焼かない陶芸”楽しむ

デコの会(宮前区)

粘土で籠やラック、色彩豊かな花を作る「デコの会」は鈴木みつ子代表(56)の十二人は、毎月第一、三火曜日の午後、宮前市民館で「DECOKレイクラフト」(焼かない陶芸)の世界を楽しんでいる。

この日は、バラの花をあしらった写真立て作り。軽くて薄い羽や花びらの風合いが出せる「ソフトクレイ」という新しい混色用粘土を使う。

バラの色彩を頭の中で描いた佐藤洋子さん(56)は、赤と黄の粘土を取り、十本の指を使って、二色を練り合わせ濃いオレンジ色を作る。そこに白の粘土を加えるとやわらかい色になる。講師の島田洋子さんが「白は完全に混ぜないで、マーブル模様のまま使ってもすてきですよ」と話しながら、本物そっくりの花びらを作る。

会員も島田さんの手つきをまね、左手のひらに置いた小指の先ほど

に細く丸めた粘土を親指のはらで回転させ、ゆっくりと扇状に伸ばす。「薄すぎて破けちゃう」と手のひらからはがすのに苦労する田

豊かな色と風合い
指先の感触アート



村薫さん(50)に鈴木みつ子さんが「手のひらのこの辺りを使ってみたら」とアドバイスを。十枚できたら、花びらを芯から重ね形をつくる。「かわいい丸バラにするには芯と外側の高さをそろえろ」と、「この粘土は手が汚れないわ」と会員は手は休めずにおしゃべり。棒状に伸ばした粘土を枠にして、裏に厚紙に張り、バ

ラを飾って完成させる。DECOKレイクラフトは「無から生み出す楽しさがある。焼かないので、特殊な器具や場所もいらない。また、指先をしなやかに動かすので、脳にもいい刺激を与えるという。ソフトクレイ(繊維と発砲スチロール混)は軽く柔らかいので、年齢を問わず楽しめる。同会は平成七年、同館の成人学校「おもしろいDECOKレイクラフト」の受講者で発足。毎回「作品」を合い言葉に続けている。凝り性の樋口節子さん(69)は「固い粘土で作る大物も楽しいけれど、力がいらないのでソフトクレイはいいですね」と笑顔。仕事の合間に時間を作る三津谷むつ子さん(48)は「私は一年目。早く追いつきたい」と意欲的。「色彩センスも必要。料理や服装にも共通するので、カラーコーディネートも学びたい」と話す柳田秀子さん(47)。

鈴木代表は「みんなで楽しく年をとっていきたい」と笑顔で話す。連絡は☎(855)9904の鈴木みつ子さん(FAXなし)。

文／小誌・井上徳子
(カメラ／小誌・菅原純子)

仲間と楽しむ

学び

活動する

仲間と楽しむ

学習・文化情報

探していた講座がある

講座・講演



①スペイン語入門②花の文化史③伝統技法と文化財の保存④縄文の旅◆玉川

「パソコン教室」入門コース◆東芝科学館」10月24日(土)9時半から。お絵かき、文字打ちまで。参加費約千円。20組40人。申し込みは☎(549)2200。なお、同館では、パソコンが20台になり、デジタル、お絵かき、バーチャルリアリティが自由に楽しめる。写真。川崎駅からバス。

川大」①は10月6日～12月15日(祝日を除く)の毎週火曜17時半から、全10回。旅行や日常会話で使う表現も取り入れる。講師は政山利奈・同大講師。1万8千円。20人②は10月17日～11月28日の隔週土曜と12月5日(土)13時半から、全5回。講師は田中宏・同大客員教授。1万5千円。30人③は10月17日～11月28日の隔週土曜14時から、全4回。生活に密着した独特の技法の漆工、装、色彩について。講師は見城敏子・東京国立文化財研究所名誉研究員。1万2千円。40人④は11月12、19日の木曜18時から。5千年前の信州・甲州の様子を井戸尻遺跡、尖石遺跡から迫る。講師は戸田哲也・同大講師。11月14日(土)15日(日)は研修旅行。宿泊費込み3万4千円。30人。申し込みは☎0427(39)8895の同大学継続学習センター。玉川学園前駅下車。「入門点字講習会」◆多摩

川の里身体障害者福祉会館」10月13日～11月17日(祝日を除く)の毎週火曜10時から、全5回。参加費は簡易点字器と教材で約2千円。25人(抽選)。申し込みは10月9日(金)までに往復はがきに講習会名、住所、氏名、☎、FAX番号、返信部分にあて名、あて先を記して214-0012多摩区中野島6の13の5、同館。☎(935)13599。

「簿記2級検定準備講座」◆市立労働会館」10月26日～来年2月8日のうちの月・木曜18時15分から、全25回。受講料2万2千円。35人(抽選)。申し込みは10月18日(日)11時から、直接来館☎(222)4416。

「ちばな・ふるさとセミナー」◆都市の緑と私たちの暮らし◆プラザ橋ほか」10月24日(土)13時半から。「変わりゆく川崎の自然」今、私たちにできることは」と題し、同館で講義▽31日(土)10時から。多摩遊歩道散

策。講師は齋藤博・動植物研究者。保険料のみ50円。先着40人。申し込みは10月9日(金)9時から☎(788)1531の同館。

「かながわ消費者週間講座」◆最近の特微的消費者被害◆県川崎消費生活センター」10月12日(月)10時から。最近の被害事例を挙げて村千鶴子・弁護士が話す。無料。先着80人。申し込みは10月7日(水)までに☎(833)1231内線331の同センター。

「考えてみよう労働法と規制緩和」◆県川崎労働センター」10月8日(木)～11月11日(水)のうちの12日間。時間は18時半から。日本経済の動向、雇用形態、高齢化社会の労働、賃金制度など。講師は中沢孝夫・労働評論家、白木三秀・国士館大教授ほか。受講料2760円。詳しくは☎(833)3141の高津合同庁舎内・同センター。「かわさき女と男のフォ

ラム」かしい選択で自分らしく◆麻生市民館」10月17日(土)13時半から。「理系の選択」広がる世界」と題し、中村立子・実践女子大講師が基調講演▽「輝けるテクノウーマンからのメッセージ」をテーマにパネルディスカッション。パネリストはコマツ勤務・出浦淑子さん、デザイン事務所勤務・久坂美津子さん他。無料。定員先着150人。申し込みは、保育、手話通訳希望者のみ10月7日(水)までに☎(200)2300の市民局女性行政推進室。「フラワーデザイン一日講習会」◆武蔵中原CCセンター」10月20日(火)10時半から。季節の生花でアレンジ。参加費3千9百円。申し込みは☎(812)3431の矢崎さん。フラワーデザイン研究会主催。会場は武蔵中原駅下車。「わたしたちのテスト教室」◆本当に真っ白がいいの?◆市消費者行政センター」

市外局番のないものは044

学習・文化情報

学習・文化情報

聞きたい講演がある

10月21～30日の毎週水・金曜10時から。石けん、合成洗剤のテストをする。無料。各回先着10人。申し込みは10月1日(木)9時から☎(200)22633の同館。

「かしい消費者講座」◆市中小企業・婦人会館」10月29日(木)10時から。「自己責任時代におけるかしい貯蓄商品の選び方」がテーマ。講師は目黒政明・フアイナンシャルプランナー。無料。先着80人。申し込みは10月15日(木)9時から☎(200)22622の市消費者行政センター。

「歴史講座」川崎市域の寺院を学ぶ◆市公文書館」11月28日～12月12日の毎週土曜13時半から、全3回。文化財から庶民信仰を学ぶ、中世・近世での寺院の役割を考える。講師は村上直・法政大名嘗教授。教材費込み千800円。30人(抽選)。申し込みは11月6日(金)までに来館か、往復はがきにて住所、氏名、年齢、職業、☎を記して211-0005、1中原区宮内4の1の1、同館・同講座係。☎(73

3)3933。

「クリスマスギフト講習会」◆宮前市民館」織維入りのやわらかな粘土で作る写真。①10月27日(火)13時半、ギフトボックスを②11月17日(火)9時半、クリスマスツリーを。各2千円(材料費込み)。先着30人。申し込みは①10月20日(火)②11月10日(火)までに☎(865)6203の島田さん。



「Windows 98入門」◆登戸ドレスメーカー学院」10月24日(土)13時から。受講料5千円、教材費千円。先着15人。申し込みは午前中に☎(911)2221の同院。向ヶ丘遊園駅下車。「かわさき女と男のフォーラム」あなた、私の心が

見えますか？外国人女性の抱える問題」◆市ナースングセンター」10月24日(土)13時半から。講師は三木恵美子・横浜弁護士会人権擁護委員長ほか。無料。申し込みは、保育、手話、通訳希望者のみ10月16日(金)までに☎(200)23000の市民局女性行政推進室。会場は武蔵小杉駅下車。

「市民健康セミナー」膝関節障害及び変形性膝関節症について◆市中小企業・婦人会館」10月31日(土)14時から。講師は杉原俊弘・聖マリアンナ医科大学東横病院整形外科副部長。質問・相談コーナーあり。無料。当日先着150人。問い合わせは☎(722)2121内線5222の同院総務課。

「高津の民話を訪ねて」◆高津市民館ほか」11・12月の第3火曜、来年1月26日(土)2月23日の第2・4火曜、3月13日(土)14時から、全6回。伝説、民話の発祥地を訪ねながら歴史、伝統を調べ、次世代への継承も考える。無料、交通費は実費。先着30人。有料保育あり。

申し込みは10月27日(火)10時から☎(814)7603の同館。

「朗読入門講習会」②手話(夜間)入門講習会◆市中部身体障害者福祉会館」①は10月24日(土)11月21日の毎週土曜10時から、全5回。無料。30人(抽選)②は10月27日(火)12月1日の毎週火曜18時半から、全6回。テキスト代のみ300円。40人(抽選)。申し込みは①10月13日(火)②16日(金)までに往復はがきに講習会名、住所、氏名、年齢、☎を記して211-0068中原区小杉御殿町2の114の1、同館。☎(733)9675。

「講習会」①球根草花の育て方②小菊盆栽の作り方③秋の樹木ウォッチング◆市緑化センター」①は10月21日(水)②は11月12日(水)③は11月18日(水)。いずれも13時半から。各30人(抽選)①のみ教材費千円。申し込みは①10月14日(水)②28日(水)③11月9日(月)までに往復はがき(1人1枚)に講習会名、住所、氏名、☎を記して214-0021多摩区宿河

原6の14の1、同館。☎(911)2177。

「初級英会話」②フランス語講座③スペイン語講座◆市国際交流センター」①は11月14日(土)来年3月27日の毎週土曜10時半から、全18回②は11月28日(土)来年3月6日の毎週土曜10時半から、全12回③は11月27日(土)来年2月26日の毎週金曜19時から、全12回。受講料は①2万5千円、他は1万5千円。各25人(抽選)。申し込みは①10月29日(木)②③11月17日(火)までに☎(435)7000の市国際交流協会。

「地方分権・市民立法ゼミナール」分権条例をつくらせてみよう◆川崎地方自治研究センター他」11、12月の第1・3土曜と、来年1月21日(木)、2月6日、3月27日の土曜10時から、全7回。自治立法、地方分権推進計画を読み、市民版川崎分権条例をモデル化する。横田清・中央大客員講師ほか。対象は16歳以上。無料。定員15人。申し込みは10月24日(土)までに「地方分権の

学習・文化情報

参加したい催しがある

催し



イメージ」を4百字「自己PR」を2百字に記し、〒210-8577川崎区宮本町1川崎市役所内総合企画局分権推進担当へ郵送。
☎(200)3708。

①パソコン入門②中高年齢者向けパソコン③表計算初級④同中級⑤Windows入門⑥パソコン基礎コースⅡ◆市産業振興会館①は10月17、24日(土)、全2回②は10月12日(月)14日(水)16

◆映画劇場②囲碁大会
川崎市民プラザ①は10月17日(土)14時と18時。「メン・イン・ブラック」。当日先着各5百人。無料②は11月3日(祝)9時受け付け。棋力別に分かれ総平手戦。対象は市内在住・在勤・在学の人。2百人(抽選)。費用は5百〜千円。棋力はAは5段以上▽Bは3・4段▽Cは初・2段▽Dは1〜3級▽Eは4級以下。申し込みは10月14日(水)必着で、往復はがきに住所、氏名、

さしい人」の講演▽区内の福祉活動紹介など。無料。



「川崎区社会福祉大会◆市労働会館」10月27日(火)13時。女優石井めぐみさんⅡ写真Ⅱの「やさしい街」や

年齢、棋力、☎を記して213-0014高津区新作1の19の1、同プラザ同大会係。☎(888)3131。

業振興財団・情報開発課。
①データベースソフト初級②インターネット③同ホームページ制作④LAN構築入門⑤写真加工チャレ

日(金)、全3回③は10月6日(火)9日(金)21日(水)④は10月28日(水)⑤は10月14日(水)31日(土)⑥は10月12〜26日の月曜、全3回。受講料は1万〜2万6千円。各先着8人。問い合わせ・申し込みは☎(548)4119の市産業振興財団・情報開発課。

ンジ教室⑥フォトショップ基礎コース◆市産業振興会館①は10月15日、22日(木)、全2回②は10月8〜29日の木曜、全4回③は10月9〜23日の金曜、全3回④は10月28日(水)⑤は10月21日(水)⑥は10月20、27日(火)、全2回。受講料1万1千円〜3万6千円。各先着8人。問い合わせ・申し込みは☎(548)4119の市産業振興財団・情報開発課。

当日先着7百人。問い合わせは☎(246)5500の同区社会福祉協議会。

「公開シンポジウム「民族紛争の現在〜日本から考える」◆和光大学」11月7日(土)13時半、J301教室で。山根聡・大阪外大助教授、松枝到・和光大教授他。無料。当日直接。問い合わせは☎(989)7478の同大総合文化研究所。鶴川駅下車。

「①星を見るタベ②星の撮影教室③天文講座」しし座流星群を探る④生田緑地ミニ観察会⑤ワクワクワーク〜アルミはく電池を作る

う◆市青少年科学館①は10月24日(土)18時、M15、木星を▽31日(土)18時、月を。雨、曇りはプラネタリウム②は11月13日(金)19時、木星を。雨、曇りは中止。小学5年以上(小学生は要保護者)先着10人。持参品あり③は10月17、24、31日の土曜14時半、全3回。中学生以上先着30人。④は10月4日(日)と11月1日(日)は植物▽10月11日(日)は地層▽18日(日)はクモを。いずれも10時同館入口集合。雨天決行(クモ観察は中止)。持参品あり⑤は11月8日(日)13時。小学生以上先着15人。いずれも無料。申し込みは①④当日直接②10月16日(金)③10月2日(金)⑤10月23日(金)から☎(922)4731の同館。

「シネマテーク」自由という地平◆市民ミュージアム「イギリスのケン・ローチ監督の作品を上映。10月3日(土)①ブラック・ジャック②家庭生活▽4日(日)①まなざしと微笑み②狩場の管理人▽10日(祝)①隠された議題②祖国▽11日(日)①キャッシュ・カム・ホーム②隠され

社会保険労務士資格試験準備セミナー

受講者募集

- 日 時——11月28日～来年4月24日の毎週土曜9時半～16時半、全11回
- 会 場——市生涯学習振興事業団(小田急線新百合ヶ丘駅下車)
- 受講料——50,000円。他に教材費26,000円
- 定 員——50人(抽選)

★申し込みは、11月4日(水)～6日(金)10時～17時に☎(952)5000の当事業団へ電話

学習・文化情報

自然と親しみたい



た議題。時間は①が13時半②が16時。料金は一般500円、小中生300円。スカラチケット4千円。先着250人。☎(754)4500。
 「川崎みなと祭り◆川崎マリエンほか」10月17(土)18日(日)10時〜16時。川崎港内見学会、ミニSSL、バザールなど。問い合わせは☎(287)6009の同実行委。
 「史跡見学〜中世の地蔵信仰の遺跡を訪ねて◆箱根町」11月9日(月)10時、箱根町立郷土資料館集合。伊藤順・箱根町教委文化財保護係長の「元箱根石仏・石塔群の保存整備について」の講演と現地解説Ⅱ写真。受

講料500円。50人(抽選)。申し込みは往復はがきに住所、氏名、年齢、性別、☎を記し10月27日(火)必着で〒210-0004川崎区宮本町6川崎市教育委員会文化財課「史跡見学」係。☎(200)33006。
 「自然とあそぼう◆市青少年創作センターほか」11月1日(日)10時から、同センター。自然のもので工作▽11月14日(土)13時〜15日(日)15時半まで、黒川青少年野外活動センターに宿泊。野外料理やゲームを。参加費3千円。対象は市内在住・在学の小学3年〜中学生で2回とも参加できる30人(抽選)。申し込みは往復はがきに住所、氏名、校名、学年、性別、☎を記し10月22日(木)必着で〒214-0003多摩区三田2の3303の1の同センター。問い合わせは☎(911)1510。
 「かながわ消費者週間」悪質商法110番◆県川崎消費生活センター」10月15日(木)16日(金)の9時〜16時。来所または電話で相談。無

料。☎(833)1231の同センター。
 「講座作品発表会◆中小企業・婦人会館」10月17日(土)10時〜18時、18日(日)同17時。受講生の作品展示や即売、尺八・民謡発表会、太極拳の実演など。☎(422)2525の同館。
 「自然観察会◆江戸川区古川親水公園」10月22日(木)9時50分、同区役所総合案内力ウンター前集合。雨天決行。講師は渡部一二・多摩美大教授。300円。弁当・文具持参。先着30人。申し込みは☎(954)1862の酒井さん。主催は多摩区の緑と水を考える会。
 「中原区文化祭◆中原市民館」10月23日(金)13時〜25日(日)は生け花・書道・俳句の展示▽24日(土)11時、25日(日)10時半から舞踊・詩吟・民謡などの発表とお茶会▽25日(日)〜11月12日(木)、とどろき緑地公園内で菊花展。☎(722)7171の同区文化協会事務局。
 「①講演会②健康体操◆平こども文化センター」①は10月9日(金)10時。教育評

論家の村田栄一さんの「世界の教師たちと明日の教育を語り合つて」の講演②は10月23日(金)10時。練功十八法指導員鹿山法子さんが鍛錬法を紹介。各千円。当日直接。問い合わせは☎(865)80056の堀内さん。
 「①竹細工〜球形花籠②紙すきと和紙③実演会〜丸太から柱ができるまで④お茶席の会⑤こども体験教室〜竹細工⑥園内古民家解説ツアー◆日本民家園」①は10月25日(日)10時、作田家で。千円。30人(抽選)②は11月8、15、22日の日曜10時から全3回、佐々木家で。はがきとしおりを作る。2千円。20人(抽選)③は10月18日(日)10時、作田家で。大工仕事の実演。子供工作教室も。雨天決行。無料。要入園料④は10月4日(日)10時、佐々木家で▽11月8日(日)10時、作田家で。一服300円。先着百人⑤は10月24日(土)10時、作田家で。竹でスコップを作る。小〜高校生先着10人。無料。入園料不要。⑥は11月7日(土)13時半、原家集合。職員が民家

第146回 川崎市民交響楽団定期演奏会

10月17日(日)午後6時30分開演
 市教育文化会館(JR川崎駅下車)

指揮 石川真也

ドヴォルザーク「交響曲第9番〜新世界より」
 リスト「交響詩〜前奏曲」 他

■問い合わせ……☎(522)6941の同団連絡事務所

☆共催……川崎市、市教委

学習・文化情報

みたい絵がある



「中村正義の美術館」10月10日(祝)～11月8日(日)、中村正義と从展・大島哲以。写真は大島の「悲しみ」。一般500円、学生300円、小中生200円。☎(9553)4936。読売ランド前駅

ギャラリー



の特徴や見どころを解説。無料。要入園料。申し込みは①は10月12日(月)②は10月26日(月)必着で往復はがきに住所、氏名、☎、講座名、受講日を記し、〒214-0032多摩区枳形7の1の1の同園③④⑥は当日直接⑤は10月1日(木)から☎(9222)2181。

「美しい歩き方講座◆サカモト・ミュージックスクール鷺沼校」10月18日(日)14時半。ファッションモデルの

坂本知穂さんのトークと実演。先着70人。2千円。事前に申し込み。問い合わせは☎(8554)6581。鷺沼駅下車。

「ボレロを楽しむ会」参加者募集。市教育文化会館で12月20日(日)16時開演の「ボレロ」の演奏者を募集中。初回の練習は10月25日(日)9時半、宮崎台小学校で演奏できる楽器で。無料。詳しくは☎(933)8107の同会事務局。

「麻生市民ギャラリー」10月1日(木)～7日(水)、中村正義の美術館10周年記念・正義著「創造は醜なり」出版記念展。代表作「顔」シリーズ他。無料▽10月4日(日)13時、麻生市民館広場集合。「みるみる かかくく子どもワークシヨップ」。

正義の絵を見て、大きい絵を描く。対象は小学3年～中学生。先着30人。材料費のみ500円。申し込みは☎(9553)4936の同美術館。

「スナック喫茶琴」10月

「ボレロを楽しむ会」参加者募集。市教育文化会館で12月20日(日)16時開演の「ボレロ」の演奏者を募集中。初回の練習は10月25日(日)9時半、宮崎台小学校で演奏できる楽器で。無料。詳しくは☎(933)8107の同会事務局。

17日(土)まで、柳沢春美の鳥写真▽10月19日(月)から、辻本洋子のちぎり絵。問い合わせは☎(544)0507。鹿島田駅下車。

「横浜市民ギャラリー」10月18日(日)～22日(木)9時半～17時、神奈川美術協会会員展。村楨広義II小誌昨年11月号「いまを話す」ゲストII、森力男の油彩他。問い合わせは☎0427(96)9198の同協会事務所。関内駅下車。

「アートホール新町」10月1日(木)～24日(土)、新町小児童の「夏休みボスターコンクール」夏の思い出。同小PTA他主催▽10月27日(火)～31日(土)「障害者自立読売絵画展」。全国からの

「アートホール新町」10月1日(木)～24日(土)、新町小児童の「夏休みボスターコンクール」夏の思い出。同小PTA他主催▽10月27日(火)～31日(土)「障害者自立読売絵画展」。全国からの

「会館とどろき」10月3日(土)～18日(日)、しゅろの会彫刻展▽10月19日(月)～26日(月)、退職教職員作品展▽写真▽10月26日(月)～11月2日(月)、同作品展▽工芸・編物。☎(733)3333。

「市民ミュージアム」10月3日(土)から「ミュージアムコレクション展I」メデアと大衆。19～20世紀前半の欧米、日本のポスター・漫画・写真ほか。一般300円、小・大学生100円。☎(754)4500。

ステージ

「サンデーコンサート」①紅葉寄席◆川崎市民プラザ①は11月8日(日)13時からKBLビックバンド16時から岡本章生とゲイ・スターズ。無料。80人②は11月21日(土)18時開演。三笑亭夢丸、三遊亭円楽。大人2千円。子供500円。500人。申し込みは①当日直接②同所でチケット販売中。☎(888)3131。

「福祉音楽会①かわさきウエルフェアコンサート②かわさきウエルフェア舞踏会◆川崎駅周辺」①は10月20日(火)18時半開演。会場は

「サンデーコンサート」①紅葉寄席◆川崎市民プラザ①は11月8日(日)13時からKBLビックバンド16時から岡本章生とゲイ・スターズ。無料。80人②は11月21日(土)18時開演。三笑亭夢丸、三遊亭円楽。大人2千円。子供500円。500人。申し込みは①当日直接②同所でチケット販売中。☎(888)3131。

「サンデーコンサート」①紅葉寄席◆川崎市民プラザ①は11月8日(日)13時からKBLビックバンド16時から岡本章生とゲイ・スターズ。無料。80人②は11月21日(土)18時開演。三笑亭夢丸、三遊亭円楽。大人2千円。子供500円。500人。申し込みは①当日直接②同所でチケット販売中。☎(888)3131。

「越後ごぜ唄②民俗芸能舞台公演◆日本民家園」①は10月11日(日)13時、工藤家。出演は竹下玲子②は10月25日(日)13時、船越の舞台。世附の百万遍念仏▽浦賀虎踊。料金は①300円②200円(要入園料)。受け付けは開演1時間前から会場。詳しくは☎(922)2181の同園。

「悠久の風景」賈鵬芳&天華アンサンブル◆川崎能楽堂」10月31日(土)15時と18時半開演。二胡や琵琶の演奏。全自由席3千円。申し込みは☎(222)8821の市文化財団。

「ろうきん音楽を楽しむ会◆市立白山小」10月4日(日)13時半。合唱と室内楽。出演は同小・真福寺小児童、

「悠久の風景」賈鵬芳&天華アンサンブル◆川崎能楽堂」10月31日(土)15時と18時半開演。二胡や琵琶の演奏。全自由席3千円。申し込みは☎(222)8821の市文化財団。

「悠久の風景」賈鵬芳&天華アンサンブル◆川崎能楽堂」10月31日(土)15時と18時半開演。二胡や琵琶の演奏。全自由席3千円。申し込みは☎(222)8821の市文化財団。

市産業振興会館大ホール。3千円。障害者自立読売絵画展を支える会主催②は10月31日(土)14時～20時半。会場は市教育文化会館大会議室。障害者の自立支援と交流会。2千円。リバーカレントの会主催。問い合わせは☎(344)6444のアートホール新町。

麻生童謡をうたう会、フレッシュアンサンブルかわさき。無料。問い合わせは☎(989) 1111の県労働金庫新百合丘支店(主催)。

「ひとみ座寄席◆ひとみ

座スタジオ」10月24日(土)15時と19時開演。出演は柳亭燕路、林家彦いち他。前売り券千五百円。問い合わせは☎(777) 2225の同寄席を楽しむ会。元住吉駅よりバス。

スポーツ

「バドミントン中級◆市体育館」11月10日～12月8日の毎週火曜10時、全5回。

・市剣道連盟事務局長、矢野昌平・市柔道協会常任理事。対象は小学生以上。用具持参。学生60円、一般120円。☎(813) 6531。

15歳以上。40人。2千円(教材費2千円)。申し込みは10月13日(火)10時に同館で抽選。☎(200) 3255。

「剣道・柔道教室◆高津スポーツセンター」毎週木曜18時半。講師は塘地健治

「トレーニング講習会◆幸スポーツセンター」毎月第一土曜16時半。講師は宮原英昭・トレーニング指導員。中学生以上20人(先着順)。大人120円、中学生60円。事前に申し込む。☎(555) 3011。

会員募集

●宮前ウインドオーケストラ

《賞輪西代表、島田猛代表》演奏会を中心に活動している吹奏楽団です。楽しく演奏すると気持ち晴れ晴れしますよ。練習は、

毎週水曜と月1回の日曜17時半から宮前市民館。月会費2千五百円、入会金なし。1993年、指導者の賞輪響さんが地域の人達に呼び掛けて発足しました。連絡は☎・FAX(853) 1451の賞輪。

●かわせみ会《久我勝代

表》野山を歩き、野鳥観察をしながら、自然とふれあいませんか。野鳥研究家の叶内拓哉先生の解説でより親しみをもてます。例会探鳥会は2力月に1回のペースで年6回、原則として木曜日です。入会金千円、年会費6千円、参加費5百円。13年前、多摩市民館成人学校で発足しました。連絡は☎(966) 8362の同代表(FAXなし)。

●多摩フラウエンコー

女声合唱団《丹野君代代表》美しいハーモニーを求め、合唱組曲を歌っています。辻正行先生が話を交えて楽しく教えてくれます。練習は、毎週木曜10時から、イノウエ・ホール(登戸駅下車)。入会金千円、月会費はボイストレーニング込み7千円。25年前、多摩市民館成人学校で発足しました。連絡は☎・FAX(952) 0881の同代表。

お知らせ 1999年新

春号(1、2月合併号)の発行日は1月8日(金)になります。

編集後記

「よいしょ」でいいか

台風四号の接近に伴う集中豪雨で福島栃木に大きな被害をもたらした▼「天災は忘れたころ

にやってくる」との格言があるが、普賢岳の噴火、阪神淡路大震災は記憶に新しい▼世界的異常気象は、人間が自然を長い間、痛めつけてきたことへのタタリ?

▼生命保険と損害保険の三十代の会社員二人と七月中旬、話し合ったとき「夏休みは海外旅行どころではない。経済予測は悪いほうなら何でもあり。『マイホーム購入計画のある人は延ばしたほうがいい』という上司さえいる」と話してくれた▼その予測どおり八月下旬、世界同時株安となった▼株を大量に保有する銀行が含み損を増やし、経営悪化・倒産が心配である▼日本を代表する生保・損保が、かなり前から世界恐慌をも懸念していたようだ▼政府や日銀の経済見通しは、奥

歯にモノが挟まったようだったが、経済企画庁長官に作家の堺屋太一さんが就任し、少なくとも「民に分かりやすい情報を教えても混乱するだけ」の官僚の発想は消えた▼だが、平成不況の出口はいまだに見えない▼予想外に好評だった(失礼)のが、九月号「いまを話す」の原・市議会議長の記事▼「地方分権と地方政治がこれほど、私たちの生活と密接に結びついているとは……。インタビュアーとのやりとりが楽しく、分りやすい記事」(高津区、40代の女性)などの感想が多数寄せられた▼政治離れの原因に、公約違反と政治家の説明の分かりにくさがある▼市民の政治離れは表向きで、本質は政治家による政治離れだ▼「小誌インタビュアーの質問が厳しい」との意見もある▼市民がゲストの話を興味深く読み、理解していただくためには「聞き手の知ったかぶり禁物」であることを教えられた▼読まれない「よいしょ記事」は紙のムダ(田)。

市民スタッフと映画人が創る

しんゆり映画祭

新しいアジア文化の風を…

「第四回しんゆり映画祭」が麻生区新百合ヶ丘駅周辺で下記の日程で開催されます。今年は今村昌平監督の最新作「カンゾー先生」の先行上映、日本・アジアの若手監督作品▽女性の生きる姿を描いた作品▽名画座特集、監督・出演者・評論家のトークなど魅力的なプログラムです。また、視覚障害者や車いすの方が楽しめるバリアフリーシアターもあります(副音声ガイド・送迎バスの予約は10月3日まで)。前売り券をお早めにお求め下さい。問い合わせは☎(959)5042の同祭事務局

=表の()内は製作国、邦画は記さない=



北野武監督作品「HANA-BI」

●発行
電話(財)川崎市生涯学習振興事業団
044(952)5000代
FAX 215-0004
川崎市麻生区万福寺一の二の二、新百合21ビル
編集人・田中 園

会場	ワーナー・マイカル・シネマズ新百合ヶ丘		新百合21ホール
	日本・アジアの熱い風	映像が語る女性像 & 伝説の名画座	バリアフリーシアター
10/7 (水)		13:00 足折レナバ 14:00 カンゾー先生 16:20 今村昌平監督・出演者トーク	
	18:30 萌の朱雀 20:15 仙頭直美監督トーク	18:00 奇跡の海(デンマーク) 20:55 フリートーク	
8日 (木)	13:30 闘牛師(マレーシア) 15:15 満月の日の死(スリランカ) 16:40 佐藤忠男・日本映画学校長講演	14:00 ユキエ 15:45 松井久子監督 倍賞美津子トーク	14:00 HANA-BI 16:00 大杉漣トーク (副音声ガイド付)
	18:20 ファザーレス 19:50 佐藤忠男・茂野良弥監督トーク 20:45 龍門客棧(台湾)	17:30 ジョニーは戦場へ行った(米) 19:30 座談会「名画座壊滅論」 20:50 灰とダイヤモンド(ポーランド)	
9日 (金)	12:00 洗濯機は俺にまかせろ 14:00 アベック モン マリ 15:35 武藤起一・大谷健太郎監督トーク	13:30 バベットの晩餐会(デンマーク) 15:25 岸田今日子トーク	14:00 ラヂオの時間 16:00 戸田恵子トーク (副音声ガイド付)
	17:00 天使の涙(香港) 18:45 村田順子・江戸木純トーク 19:30 欲望の翼(香港)	16:50 狂い咲きサンダーロード 18:40 座談会「名画座から生まれた映画」 19:50 竜二	
10日 (祝)	12:00 アンドロメディア 14:00 三池崇史監督・山本英夫トーク 14:50 中国の鳥人	13:00 四月物語 14:20 掛須秀一「日本映画技術講座」	
	17:30 頭目(インド) 20:20 インド人留学生のトーク 20:50 ラジュ出世する(インド)	16:30 ミスター・ノーボディ(伊ほか) 18:35 座談会「名画座へ行こう」 19:35 十二人の怒れる男(米)	
11日 (日)	11:30 青春神話(台湾) 13:40 ツアイ・ミンリャン監督トーク 14:55 河(台湾)	13:00 ピアノ・レッスン(豪) 15:15 トーク「映像が語る女性像」	

◆料金は各ブロック前売り1000円、当日1200円◆前売りはチケットぴあ◇川崎市など主催、当事業団など共催